

## オアシス&公益社団法人会社役員育成機構「女性の役員育成奨学金」 募集の結果発表

- 「女性の役員育成奨学金」制度で68名のプロフェッショナルな女性が  
BDTI の役員研修の支援を受ける
  - 2021 年度比で役員研修の女性参加者が倍増する見込み

2022年4月7日、東京 - オアシス・マネジメント・カンパニー・リミテッド(以下「オアシス」と公益社団法人会社役員育成機構(以下「BDTI」)は初回の「女性の役員育成奨学金」の募集結果を発表しました。

同奨学金制度によって、選定された68名の女性は今年中に研修を受けることになります。国際女性デーにちなんで発表されたこの取り組みでは、BDTI が開催する役員研修コースのいずれかを三月中に申し込んだ資質を持つ女性に対し、オアシスが費用を全額負担します。BDTI の日本語および英語の研修プログラムは、第一線で活躍する一流講師や専門家から直接学ぶ、日本の取締役または執行役員の候補者を育成するためのものです。

半数以上は BDTI の中核コースである「ガバナンス塾」を受講し、残りの方々は社外取締役の役割に特化する上級コースである「社外取塾」、英語の Director Boot Camp、または BDTI の提供する e-Learning(全4コース)を受講します。(以下の「対象の研修一覧ご参照ください。)

BDTI の代表理事ニコラス・ベネシュは「優秀な女性からの応募が多く、コースの日程を追加しました。毎年、BDTI の研修プログラムに参加する女性が増えており、その資質も向上しています。今回、経営経験豊富な方々に加え、CFA、CPA、法律などの資格を持った方の応募が増えました。前年度、当法人のオープンコースの女性参加率は32%であり、上場企業の女性役員比率の平均の4倍以上となりましたが、今年度は50%を超える予想です。」と述べました。「BDTI は10年の間に約 2,400 名に研修を提供しましたが、最近では社外取締役に変わった女性受講者の数は増えています。」

オアシス・マネジメント・カンパニー・リミテッドの創業者で最高投資責任者のセス・フィッシャーは、「この女性の役員育成奨学金の目標は、日本における有能な女性取締役候補のパイプラ

インを大幅に拡大することです。有能な女性取締役を増やし、日本の取締役会におけるジェンダー・ダイバーシティを改善することは、日本企業のガバナンスと競争力を向上させると考えています。私たちは、この結果を喜ばしく思うとともに、これが始まりに過ぎないことを望んでいます。」

## 対象の研修一覧

### 「ガバナンス塾」

取締役・執行役員が身につけるべき基本的な知識を1日で集中的に学習するプログラムです。コーポレート・ガバナンスの理論と実践、会社法、金商法、財務諸表の読み方、ケーススタディなど、第一線で活躍する講師陣によって講義が行われます。

### 「社外取塾」

日本で社外取締役として豊富な経験を積んだ女性、男性、外国人の方々の奇譚のないアドバイスと経験則を集めた予習教材を事前にお渡しします。当日はそのアドバイスを念頭にガバナンスと委員会の実務、取締役会の戦略についての関わり方、ダイバーシティ、ESG、モニタリングの手法、取締役としての貢献方法、D&O 保険、面接・契約プロセスなど、多数の実践的なトピックを取り上げます。社外取締役として経験豊富な2名の講師による、実体験を交えたインタラクティブなプログラムです。(事前条件:Boot Camp、ガバナンス塾、または同等の知識をお持ちの方)

### 「e-learning」

BDTI では「会社法」「金商法」「コーポレート・ガバナンス基礎編」「コーポレート・ガバナンスの実践編」のeラーニングコースを低価格で提供しています。この4つのコースは、「ガバナンス塾」受講者にも提供されており、受講者は塾の前後に基礎的な知識を得ることができます。

### “English Director Boot Camp”

この1日集中プログラムでは、上場・非上場問わず、日本企業の取締役を責任持って務めるために必要な、法律とコーポレート・ガバナンスに関する主要な知識を学びます。双方向のディスカッションや質疑応答の時間を設け、取締役会で実際に起こる状況やその対処法について論議します。受講者には日本語のeラーニングコースを提供しています。

\*\*\*

## 公益社団法人会社役員育成機構の紹介

公益社団法人会社役員育成機構(BDTI)は、取締役会メンバー・経営陣向けにグローバル経営手法とコーポレート・ガバナンスのノウハウを融合した役員研修プログラムを開催する日本の「公益」非営利組織です。日本政府の認定を受け、これらの活動を行う非営利団体で、企業の情報開示に関するデータ・データベースサービスも行っています。BDTIの代表理事であるニコラス・ベネシュは、2013年に日本政府に対して、ジェンダー・ダイバーシティに具体的に言及した原則を含むコーポレートガバナンス・コードの概念を提案した人物であります。BDTIの研修プログラムの概要は[こちら](#)から、データサービスのメニューは[こちら](#)からダウンロードできます。

## オアシスの紹介

オアシス・マネジメント・カンパニー株式会社は、国やセクターを問わず、幅広い資産クラスの投資機会に焦点を当てた私募投資ファンドを運用しています。オアシスは最高投資責任者(CIO)として当社を率いるセス・フィッシャーが2002年に設立しました。オアシスの詳細については、<https://oasiscm.com> をご覧ください。オアシスは、金融庁の「責任ある機関投資家のための行動原則」(通称:ジャパン・スチュワードシップ・コード)を採用し、その原則に沿って投資先企業をモニタリングし、投資しています。オアシスは、30%クラブ日本支部および香港支部投資家グループのメンバーであり、香港ボードダイバーシティ投資家イニシアチブの創設メンバーでもあります。

## メディアのコンタクト先

公益社団法人会社役員育成機構(BDTI)

中山 玲子 [rnakayama@bdti.or.jp](mailto:rnakayama@bdti.or.jp)

HP:<https://bdti.or.jp/>